

企業法学科

Law

企業法学科 開講ゼミナール一覧

石黒 匡人	72	齋藤 健一郎.....	85
岩本 尚禧	74	佐古田 彰	87
河森 計二	76	多木 誠一郎.....	89
國武 英生	79	坂東 雄介	92
小林 友彦	82	南 健悟	95

教員名 石黒 匡人

1. 研究主題

行政法学上の重要問題の研究と市町村や都道府県の各種条例の研究

2. 指導要領

第一に、公務員試験の過去問なども使いながら、行政法学上の重要問題に関する判例学説について勉強します。

第二に、各自が、興味を持った条例を選んで報告し、皆で検討します。

第三に、上記の勉強の成果を基に、各自が選んだテーマについて研究して論文を書いてもらいます。

そのことによって、行政法学をより深く理解し、同時に法的思考力を身につけるようにします。

3年次では第一段階の勉強が、4年次では論文指導が、それぞれ中心となります。

単に出席するだけでなく、議論に積極的に参加することが求められます。

3. 指導テキスト及び参考書

行政法の概説書を選んで、基本書にします。

ゼミ生と相談して決めます。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接によって決めます。

志望理由書は電子メールによることが望ましい（アドレス ishiguro@res.otaru-uc.ac.jp）のですが、それ以外の方法による場合は、研究室531に持参してください。（不在の場合はドアの下から中に入れてください。）

メール以外の場合は、A4版の用紙によること以外、形式は自由です。

理由書には、学生番号、氏名、所属学科、出身都道府県、出身高校、所属サークル、志望理由、を記載してください。

また、ゼミで取り組みたいテーマがあれば、書いてください。

簡単な自己紹介・自己アピールもあるのが望ましいです。

申込期間内に提出してください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の日時、場所については、後に掲示します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

4で記載している志望理由書を必ず提出してください。

受け入れ予定人数は7名程度です。

開講日時	木曜 4~5講
在籍人数(3年生)	8人
男女比(3年生)	7:1
ゼミ室	3号館 2階 207B
ガチ度	★★★★☆

Q. 先生はどんな人?

基本的に
優しいけど
たまに
とんどん
ツッコんび
くらよ!



< 2015年度年間スケジュール >

12~3	(前年度) 顔合せ・新歓
4	復習・条例の研究
5	お花見
6	
7	
8	
9	
10	
11	・裁判傍聴
12	
1	
2	
3	

<ゼミの日常>

- 「行政法I,II」の内容の復習。
- 各自の興味のある条例を調べてきて、報告。(たまに)

<卒業生の進路>

民:公が 1:3くらいです。

<自由記入欄>

- 行政法は公務員試験科目なので公務員志望の人は試験対策に役立ちます!ゼミ室にはその他公務員試験科目の問題集も揃っているので自習にも便利!
- 合同ゼミではないので先輩に気を遣う必要ナシ!!
- ゆるい雰囲気の中行政法のポイントを押さえることができます!
- 飲み、イベントはゼミ生の企画次第!楽しいゼミ生活を作ろう!

教員名 岩本 尚禧

1. 研究主題

- ・民法に関連していれば何でもOK（例えば、民法と憲法・刑法その他の法分野と組み合わせるテーマでも可）。

2. 指導要領

- ・当ゼミの目標は①論文・判例の報告を通じて法的思考力を養い、②法的思考力に基づく自分の考え方を他人へ説得的に伝える表現力と精神力を鍛え、③最終的に卒業論文を完成させることです。
- ・上記①～③を実現するには、もちろん「知識」が重要です。しかし、知識よりも重要な要素が「法的思考力」です。法的思考力とは、ある分野の専門的な知識を有していなくても、そこで捉えられるべき問題点を見極め、その問題を解決へ導くことができる「考える力」のことで
- ・法的思考力を養う方法は幾つか考えられますが、ゼミという場においては判例や論文の報告に対して様々な考え方を皆で出し合うことによって、発想の選択肢を広げることが重要です。法的思考力は、法的な問題に限られず、あらゆる場面において（社会人となった後も）威力を発揮するはず
- ・「知識」は重要ではない、という意味ではありません。しかし、当ゼミでは「知識」を前提とした「法的思考力」に重点を置いています。知識の習得は各ゼミ生の自発的かつ不断の努力に委ねられています。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・「最新版の六法」。これは必ず、絶対に、借金してでも購入して下さい。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- ・選考の方法は「成績」です。詳細は以下の通り。
 - ①現時点で取得した企業法学科科目単位の成績のみを基準として選考します（注意：基礎ゼミは除外）。
 - ②成績の「秀」は5点、「優」は3点、「良」は1点、「可」は0点として計算し、高得点者から順に受け入れます。
 - ③「成績証明書」を提出してください。その他の面接・テスト等は実施しません。志望理由書の提出も不要です。
- *注意：提出された成績証明書は、「不服を申し立てた不合格者に対して開示する場合」を除き、ゼミ選考以外の目的で利用することはありません。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- ・「成績証明書」を「11月18日の17時まで」に研究室（1号館5階516号室）ドアのボックスへ投函してください。なお、投函した際は、その旨をiwamoto@res.otaru-uc.ac.jp までご連絡ください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・当ゼミは3年生と4年生の合同ゼミです（木曜日の4・5限）。おっかない先輩はいません。
- ・「予習」が重要です。予習を欠かさず実行できる学生を歓迎します。予習してこない、「空気」になっちゃうよ。

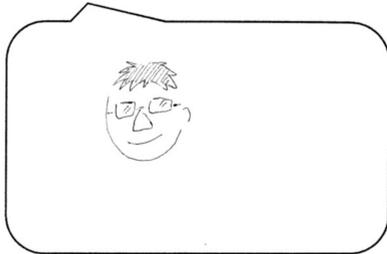
ゼミ紹介白書

< 岩本

ゼミ >

開講日時 木曜 4・5 講
在籍人数(3年生) 17 人
男女比(3年生) 男 2 : 女 15
ゼミ室 312
ガチ度 ★★★★☆

Q. 先生はどんな人?



< 2015 年度年間スケジュール >

12~3 (前年度)	
4	判例紹介
5	コンパ
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	新歓
1	
2	
3	

<ゼミの日常>

毎週担当者を決め判例を
紹介し、話し合います。

<卒業生の進路>

公務員・民間 など

<自由記入欄>

ゲーム完備, 3Dプリンタ完備, パソコン完備, プリンター完備,
ソファもあり快適です。
ただしややガチです。

1. 研究主題

法的な「考え方」の修得は、社会に出るときさまざまな場面で役立ちます。しかし、この法的思考力の修得は意識して繰り返し訓練しなければ修得することは困難です。このゼミでは法律の諸問題、とりわけ企業に関する法律（たとえば民法・商法・会社法・保険法）の重要問題・重要裁判例の検討を通して、法律の基本的な知識の修得とともに法的思考力の獲得を目的とします。

2. 指導要領

ゼミの具体的な内容については、履修者が確定した後、履修者と相談のうえ決定します。さしあたり、履修者が、興味のある裁判例や新聞の記事等から法律に関係する問題を選択し、それについて担当グループでレジュメを作成し、ゼミ生みんなで「考える」ことを通して討論を行います。

法律用語の意味や判決文の読み方、文献の調べ方などは、基礎からお教えますので、企業法学科以外の履修希望者も心配しないでください。なお、前期は木曜日に合同ゼミで行います。

ゼミは3号館「209F」のゼミ室で行っています。

3. 指導テキスト及び参考書

テキスト及び参考書は、履修者と相談のうえ決定します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

選考は、志望理由書と面接によります。

（1）志望理由書

【記載事項】

- ①氏名・学籍番号・所属学科
- ②メールアドレス（PCからのメール受信が可能なもの）・電話番号（携帯電話でも可）
- ③簡単な自己紹介&河森ゼミを希望する理由

【書式】

Word形式A4版用紙で提出すること以外、すべて自由です（1枚程度の簡単なもので結構です）

（2）面接

提出いただいた志望理由書を参考に簡単な面接（1人につき10分程度）を行います。

5. 面接の日時・場所

（1）志望理由書の提出

締め切り：10月30日（金）

提出方法：電子メール（提出先：河森E-mail：kawamori@res.otaru-uc.ac.jp）に志望理由書を添付のうえ提出してください。ただし、メール以外の提出方法を希望する場合は、1号館の研究室・534室に持参してください（不在の場合は、ドアの下から研究室室内に入れてください）。

(2) 面接

面接の詳細な日時・場所はおつてメールで連絡のうえ揭示します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミの仲間とのいまという時間を大切にしてくれる方、大歓迎です。通常の授業外のゼミ活動（ゼミOB・OGを交えての夏合宿、裁判所見学・傍聴、刑務所見学、弁護士や保険業界の実務家を招いての懇親会等）に対しても積極的に参加する学生を希望します。勉強するときは勉強し、あそぶときはおもいきり遊ぶことで、学生時代だけではなく、生涯つきあえるゼミの仲間を獲得してください。

質問があればメール等で気軽に聞いてください（河森E-mail：kawamori@res.otaru-uc.ac.jp）。

開講日時	木曜日 4・5 講
在籍人数(3年生)	10人
男女比(3年生)	12 : 5
ゼミ室	210のすぐ近く
ガチ度	★★★★☆

Q. 先生はどんな人?



< 2015 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	新入生歓迎会 3・4年合同ゼミ
5	お花見
6	学祭出店
7	
8	キャンプ(??)
9	ゼミ合宿
10	ゼミ
11	
12	
1	
2	
3	進路コン

<ゼミの日常>

毎週、何人かのグループで興味関心のある判例や事例について発表します☺
 偏愛マップ、ディベート、グループディスカッションなどさまざまな活動をしています!!
 型にはまらず色々なことができます!!

<卒業生の進路>

民間：公務員 = 7：3

<自由記入欄>

3・4年の合同ゼミです☺
学ぶときは学ぶ、遊ぶときは遊ぶます☆
 先生にとって優しく、ゼミ生同士も仲良しです♪
 楽しいイベントもいろいろありますよ^^
 このゼミに入って良かったと思えるゼミです!!
 一緒に勉強も遊びもがんばりましょう☺

1. 研究主題

國武ゼミは「労働判例研究」を行います。

ゼミは、職場の紛争をめぐる裁判例を題材にして、ゼミ生同士で事前に検討し、自分達の解釈を発表し、それについて議論する場です。裁判例を多面的に検討することにより、①判決文の理解能力、②法的思考能力、③プレゼンテーション能力、④ディベート能力、⑤問題解決能力の獲得を目指します。

2. 指導要領

ゼミでは、仲間とともに考えるプロセスを大事にしています。ゼミの進め方は、3人1組のグループで事前に裁判例について議論し、その内容をレジュメにまとめ、ゼミの時間にプレゼンテーションを行います。あとは納得するまで議論です。3年次は、裁判例を検討するなかで論点、問題点を発見し、それを法的に解決に導く作法を修得することが目標になります。

4年次は引き続き、3年生と合同で裁判例の検討を行うとともに、卒業論文を執筆します。卒業論文は、労働法の諸問題のなかから、未解決あるいは創造的な課題を自ら設定し、執筆を進めます。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・村中孝史ほか編『労働判例百選 [第8版]』有斐閣（2009年）
- ・六法（小さなものでよいが、なるべく新しいもの。）
- ・取り上げる裁判例、参考文献等は演習開講時に示します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

選考のため面接を実施します。下記の要領でエントリーすること。

①所定のアンケートフォームに登録

申込期間に所定のアンケートフォームに登録すること。

②11月2日（月）までにメールでエントリー

メールの件名を「ゼミナール履修希望」とし、本文に名前、学籍番号、電話番号を記入し、下記アドレス宛に送信すること。

メールアドレス：kunitake@res.otaru-uc.ac.jp

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接を実施します。面接の日時・場所・志望理由書等の詳細についてはメールで連絡します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

現実の職場で起きている問題は、ときに映画やドラマよりもリアルでスリリングです。

今年度のゼミでは、内々定の取消しが違法であるとされた事例(コーセーアールイー（第2）事件)や、賃金減額の合意が無効とされた事例（ザ・ウィンザー・ホテルズインターナショナル事件）などを検討しました。現実の問題を法的な推論を駆使して解決に導くというのは、実定法学にしか味わうことのできない醍醐味といえるでしょう。

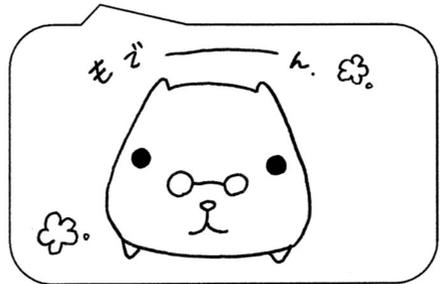
他のゼミと比べて、課題の量が多いかもしれません。しかし、「若い時の苦労は買ってでもせよ」ということわざがあるように、仲間とともに切磋琢磨した経験は、自分の成長につながります。最後まで時間をかけてやり通すことで、そこから新しい境地に立つこともできます。

大事なことは、常識や通説といったものを疑う視点を忘れないことです。この世の中には、数えきれないほどの不確実性があります。ゼミでの活動を通じて、現状の枠組みが最善でないと常に問い続けることの大切さや、自分自身で考える力を磨いてほしいと考えています。

労働法がおもしろそうだ、仲間と熱く議論してみたいと思える学生であり、かつ、報告の機会があることをアピールポイントとして前向きに考えられる学生を歓迎します。

開講日時 木曜 4・5講
在籍人数(3年生) 12人
男女比(3年生) ☺ 9:3 ☹
ゼミ室 3号館1階 112教室
ガチ度 ★★★★☆

Q. 先生はどんな人?



< 2015年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	新歓☆
5	
6	
7	その後もまだ やりたい事は 企画しちまいます!!
8	
9	
10	ハロウィン Party
11	
12	クリスマス Party 由
1	
2	
3	追いコン

<ゼミの日常>

- ★ 職場での紛争など、労働に関する裁判例を題材に原告、被告側にわかれてディベート!
- ★ ディベート後、担当者1人が5分程度のプレゼン!
内容は趣味の話、好物の話...何でもOK! ☺

<卒業生の進路>

- 某通信会社大手... 某製薬会社大手...
- 某銀行大手... など さまじま!!

<自由記入欄>

國武ゼミではディベートを通じて“労働法”を学んでいます!!
 3・4年合同ゼミなので法律なんてわかるんです!! って人も、4年生が助けてくれるから安心♡
 論理的思考力やディベート力、プレゼン力も身に付けられますよ!!
 学ぶべきことはしっかり学ぶ! 楽しむときは楽しむ! とメリハリをつけて
 ワイワイ活動しています ☺ おたさん、ゼミ見学に来てね ~!!

教員名 小林 友彦

1. 研究主題

「国際」的で「経済」と「法」に関わるような現代的諸問題の中から、履修者の希望をふまえて決定します。

2. 指導要領

本ゼミの活動は、就職活動の際に役立つというだけではなく、卒業後も生かすことのできる知的スキルを身につけることが目的ですので、履修者には自主性が強く期待されます。自分自身でまたは他のゼミ生と共同して問題を見つけ出し、他のゼミ生と協力しながら学際的に問題解決に取り組んでいく姿勢が求められます。

基本的な研究手法を3年次に修得した上で、4年次には、具体的主題について履修者が共同でまたは個別に調査を進めます。そして、ゼミ内外で発信する等の活動を行いながら、卒業論文の執筆に取り組みます。

3. 指導テキスト及び参考書

研究主題が決まった後に指定します。たとえば、過去に用いたものの例として、下記のようなものがあります。

- ・大村敦志『ルールはなぜあるのだらうスポーツから法を考える』（岩波書店 2008年）
- ・道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門（第3版）』（有斐閣 2007年）
- ・ラッセル・D・ロバーツ『寓話で学ぶ経済学：自由貿易はなぜ必要か』（日本経済新聞社 1999年）
- ・ピエトラ・リポリ『あなたのTシャツはどこから来たのか？：誰も書かなかったグローバリゼーションの真実』（東洋経済新報社 2007年）

図書館で借りるなどして目を通しておくと、本ゼミの特徴について理解しやすいかと思えます。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書(A4一枚でメール添付すること。形式は自由。絵や図を用いてもよい。)によって選考します。

学外活動／GPA／各種資格／社会経験等も参考にしますので、志望理由書に適宜記載して下さい。

5. 面接・テスト等の日時・場所

1次ゼミ申込期間中に、志望理由書を提出して下さい。教員宛にメール等で送付するか、学部Eラーニングの「2015年度」の「小林友彦3年ゼミ」のページのレポート欄から提出することを勧めます。

なお、メール添付であれば、OpenOffice等の無料の汎用ソフトで作成した文書も受け付けます。学部Eラーニングから提出する場合、どのソフトウェアに対応しているか確認して下さい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

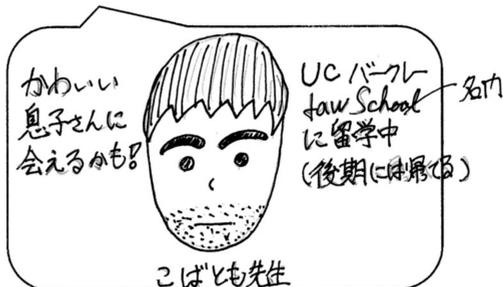
所属学科は問いません。法律学の知識があるかどうかも問いません。ゼミ所属期間中に留学やインターンシップ等、知見を広げるための自主的な課外活動を行うことは推奨しますし、最大限支援します。

火曜日に3・4年合同ゼミを行います。学外での調査や、他学科のゼミとの合同ディベートを行う可能性があります。短期留学プログラムの留学生在が履修することになった場合、彼らと円滑に意思疎通することも求められます。

知らないことにチャレンジしていくのに積極的な方は、楽しめると思います。逆に、「言われたことはきちんとこなすけれど、自分から課題を探すのは嫌い」であるとか、「他のゼミ生に合わせて行動するのが賢い」とかいう考え方だと、おそらく失望することになると思います。

開講日時	火曜4.5(合同)
在籍人数(3年生)	5人
男女比(3年生)	男4 : 女1
ゼミ室	414
ガチ度	★★★★☆

Q. 先生はどんな人?



< 2015年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	
5	ディベート大会 (MVP)
6	
7	ディベート大会 (優勝-MVP)
8	
9	
10	ディベート大会
11	
12	
1	ディベート大会
2	留学生と温泉旅行?
3	

<ゼミの日常>

和気あいあいとしています。
実際に見学へ来て確認してみてくださいね!

<卒業生の進路>

野村証券・セナセ・ミズノ・東京海上
木クレン・旭川信金・旭川庁役所
など
幅広く活躍しています。

<自由記入欄>

- ・現在井上ゼミと共同で新しい観光推進事業(天狗山)を行っています。
- ・3年生は、栗山ゼミ・加賀田ゼミ・井上ゼミと共同でディベート大会を年に4回行っています。
- ・ゼミ生には留学生や留学経験者が多く在籍しています。留学や英語・異文化に興味のある人大歓迎です。
- ・ゼミ室に人生ゲームがあるので空いた時間に留学生と遊べます(笑)
- ・力になりたいのは何でもできるゼミです! 何かにかんじたい学生は是非見学へ!

教員名 齋藤 健一郎

1. 研究主題

行政法の諸問題の研究。

行政法は様々な社会的問題に対処しようとする法であると言えます。例えば、ストーカー、危険ドラッグ、ゴミ処理、公害、景観、医療、まちづくり、道路整備、公益事業（鉄道、電気・ガス・水道まど）、民営化、規制緩和、年金・公的保険、税金、学校教育・いじめ、史跡保存などには、行政法が関係しています。このゼミでは、こうした社会問題を法的観点から考えることが中心になります。おそらく、社会的問題に対して容易には解決策を導けない場合が多いですが、各自が意見を出し、報告テーマの問題を様々な観点から考えることで、他者の意見を知ることや、複雑な問題について多角的に検討する必要性や多角的なもの見方・考え方を学ぶことを目的とします。

何をどのように行うかは、基本的にゼミ生の希望や自主性に任せたいと思います。社会の中から問題を自ら発見できるようになることや、自分なりに検討できるようになることも、このゼミの目的です。

2. 指導要領（以下について、具体的にはゼミ生と話し合ってください）

3年次は、2～3人のグループに分かれて、テーマを自ら選び、文献調査やグループで議論をし、レジュメを作成した上で、ゼミで報告を行う。その後、ゼミ生全員で討論をする。報告は、グループごとに半期で1～2回。

- ・ テーマは、教員と相談しながら、グループごとにゼミ生自身で探して決めてもらいます。そのため、ゼミ所属が決まり次第、テーマの選択を初めてください。テーマ選択やゼミでの議論のためには、新聞を読むことが有益です。
- ・ 自主性を尊重しますが、法令・裁判例・参考文献の調べ方、法令・裁判例の読み方、レジュメの作り方などで分からないことがあれば、事前に基本的なことを指導します。
- ・ 学外での実地調査や見学を行うかもしれません。夏季休暇中に、ゼミ合宿を行う予定です。東京や大阪の他大学との合同ゼミ合宿になるかもしれません（未定）。

4年次については未定ですが、3年生が報告を準備するときのアドバイス・指導や、討論での進行役が中心になる予定です。また、前期に卒業論文のテーマについて報告し、後期は卒業論文を執筆する（執筆後に報告会を行います）。

3. 指導テキスト及び参考書

- ・ 「行政法Ⅰ」「行政法Ⅱ」の講義で使用する教科書・判例集（所持している人のみ）。
- ・ 新聞（強制はできませんが、新聞を定期購読してください）。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接によって選考をします。志望理由（下記③）により選考をしますので、できる限り詳しく、具体的・明確に書いてください。面接でも、主に志望理由について尋ねます。

5. 面接・テスト等の日時・場所

1) 志望理由書の提出

第1次ゼミ申込期間に、以下の事項を記した志望理由書を研究室（1号館518）のドアのボックスに提出してください。提出者には、受け取った旨をメールで連絡します。

- ① 氏名、学籍番号、所属学科
- ② メールアドレス（PCのメールを受信できるもの）
- ③ 志望理由（例えば、ゼミで取り組みたいこと・学びたいことや、関心があるテーマ・社会問題など。その他、行政法ゼミを志望する理由。詳しく、具体的・明確に書いてください。）

2) 面接

第1次選考期間に、個別の面接を行います。1人15分程度。

日時：日時の詳細は各志望者と調整をして、メールで連絡をします。

場所：教員研究室（1号館518）。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・ 平成28年度から開講するゼミですので、皆さんでゼミを作り上げてください。授業内外でのゼミ活動やゼミ行事など行いたいことを積極的に提案して欲しいです。
- ・ 所属学科は問いません。
- ・ 3年次において、「行政法Ⅰ」と「行政法Ⅱ」を必ず履修してください（単位取得の有無は問いません）。所属学科や履修計画などの都合でやむを得ず履修できない場合には、自習が必須になります。
- ・ 報告準備を十分に行うとともに、原則として毎回出席すること。コピへの報告、無断欠席、アルバイトや部活・サークルによる欠席・早退は認めませんので、注意してください。ただし、有意義な課外活動への取り組みを妨げることはありません。

※ 平成28年度から開講するゼミのため、オープンゼミはありません。気になることがあれば、教員個人に問い合わせをお願いします（E-mail : ksaito@res.otaru-uc.ac.jp）。

教員名 佐古田 彰

1. 研究主題

国際法に関する諸問題の研究。

2. 指導要領

3年生は、現実起こった国際法上の紛争について、ゼミ生が原告、被告及び裁判官の3班に分かれて裁判を行います。4年生には、卒論指導を行います。

こういった勉強を通じて、法的なものの考え方・論理的思考、文章読解力・作文能力、プレゼンテーションの仕方などの基本的能力が身に付くよう、指導します。

3. 指導テキスト及び参考書

特になし。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接によって選考します。希望者が多数に及ぶ場合は、国際法授業の出席状況・成績その他の要素を加味することがあります。

5. 面接・テスト等の日時・場所

「研究指導所属申込書」を提出した後11月2日（月）18時までに、佐古田電子メールアドレス（sakota@res.otaru-uc.ac.jp）に、件名を「佐古田ゼミ希望（自分の氏名）」として、学生番号と氏名を書いたメールを送ってください。面接の日時・場所等について記した返事をメールで返信します。以後連絡はすべて電子メールで行いますので、携帯電話など普段自分が使用し確実に連絡がとれるものから上記メールを送って下さい。また、上記の私のメールアドレスについて着信拒否設定を解除しておいて下さい。

電子メールを使っていない学生は、電子メールアドレスを取得し、佐古田と電子メールで連絡をとれるようにして下さい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

(1) 募集人数

6人程度

(2) このゼミの性格

このゼミは勉強ゼミとします。

(3) 申込み資格

国際法の授業の単位を取得していること。

(4) このゼミの学生として望ましい人

国際関係に関心がある人、英語アレルギーの強くない人、非喫煙者。

喫煙者は、ゼミ内定時以後は禁煙してもらいます。

課外活動等に参加している人は、課外活動等とゼミの勉強がきちんと両立できるよう努力して下さい。

(5) ゼミに関する質問

ゼミに関して質問があれば、遠慮なく、上記の私の電子メールアドレスに質問を送って下さい。

(6) その他

どのゼミを選択するかは皆さんの自由ですが、一旦自分の意思で選んだ以上、最後までゼミをやり通して下さい。ゼミの選択はそのつもりで、慎重に行ってください。

ゼミ紹介白書

< 佐古田 ゼミ >

開講日時	木曜 4・5 講
在籍人数(3年生)	2人
男女比(3年生)	2:0
ゼミ室	3号館3階311教室
ガチ度	☆☆☆☆☆

Q. 先生はどんな人?



< 2015年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	模擬裁判 新勉!
5	↓ 花見(したい)
6	
7	↓
8	打ち上げ! (休)
9	み
10	模擬裁判
11	↓
12	
1	↓
2	打ち上げ! (休)
3	み

<ゼミの日常>

自分たちの興味のある事件を1つ選び、原告・被告・裁判官に分かれて模擬裁判をしています!

<卒業生の進路>

民間:公務員 = 9:1
海外で活躍する先輩も!!

<自由記入欄>

見ての通り、ゼミ生が2人しかいません(笑)
ですが、ゼミ室は比較的立地が良く、至って広いです!
ゼミ生が増えれば花見や旅行、学祭での出店などなどやりたいと思っています。国際問題に興味がある人特に募集中です!!

教員名 多木 誠一郎

1. 研究主題

本ゼミは図書を読むゼミです。色々な分野の図書を取り上げますが、法学分野の図書も取り上げます。これまでに取り上げた図書は、例えば新渡戸稲造『武士道』、岡倉天心『茶の本』、内村鑑三『代表的日本人』、福沢諭吉『学問のすすめ』、ヴィクトール・E・フランクル『夜と霧』、柳田国男『遠野物語』、ショウペンハウエル『読書について』、セネカ『生の短さについて』です。ゼミ生の皆さん1人1人が図書をじっくり読んで、それをもとに自分の頭で色々と考えて、表現できるようになることを期待しています。

2. 指導要領

教員とゼミ生の皆さんと一緒に図書を読んで、ディスカッションをしていきます。あらかじめ図書を選定し、ゼミの時間までに当該図書を読んでくることが、ゼミ出席のための前提です。ゼミの時間では、図書の内容について自由にディスカッションします。自分の体験に引きつけて発言するのよし、図書の書かれた種々の背景について調べてきて発言するのよし、著者のその他の著作と比較するのよしです。

取り上げた図書ごとに、書評の執筆・提出をお願いします。

3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ生の皆さんと担当教員で話し合っ、取り上げる図書を決めます。ゼミ生の皆さんが社会に巣立った後、何度でも読み返すに値するような図書を取り上げることができればと思っています。

あるいは実際的な基準でいえば、就職面接で尋ねられたときに、堂々と答えることができる図書を取り上げたいという考えでもあります。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

(1)面接のうえ選考します。第一次選考結果は、企業法学科の学生さんが、少なくとも過半数となるように努めます。

(2)次の事項を記入したワープロ作成文書を、添付ファイルにてtaki@res.otaru-uc.ac.jp宛に11月2日（月）16時までに送付してください。様式・分量自由。文書を受領したら、メールでその旨連絡します。

①氏名（ふりがなを振ってください）、②電話番号、③電子メールアドレス、④興味ある大学授業科目とその理由、⑤最近読んだ図書で印象深いものとその理由、⑥多木ゼミに期待すること、⑦自己アピール

(3) 面接希望時間は先着順です。205Aゼミ室のドアに添付してある紙（面接予定表。10月26日（月）17時までに添付）に学籍番号を11月2日（月）16時までに記入しておいてください。

5. 面接・テスト等の日時・場所

(1)面接日時・場所 11月10日（火）11時頃～17時頃 ゼミ室（205A）。なお変更する場合には、掲示を通じて連絡します。

(2)都合により上記(1)日時に面接を受けることができない場合には、事前連絡をお願いします。個別対応します。

連絡先 研究棟（1号館）435号室（直接訪問の場合）

taki@res.otaru-uc.ac.jp（メールアドレス）／ 0134-27-5374（研究室電話）

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

3年生は、大学生生活の折り返し地点です。また就職に関する活動も実質的に始まり、だんだんと忙しくなってくる時期かと思います。このような中でちょっと立ち止まって一緒に図書を読みましょう。ゼミで取り上げる図書が、ゼミ生の皆さんにとって「血となり、肉となり、骨となる」ことを期待しています。

オープンゼミは、10月1日（木）、8日（木）、15日（木）いずれも14時半～16時頃までを予定しています。入ゼミを希望する方は、必ず一度は見学に来て下さい。

3年生・4年生合同ゼミを予定しています。質問等がある場合には、上記5連絡先までお気軽に。

開講日時	毎週 木曜日
在籍人数(3年生)	全体 15人 3年 (8人)
男女比(3年生)	全体 9:6 3年 (7:1)
ゼミ室	3号館 2階 205A (情報処理センターの近く)
ガチ度	★★★★☆

Q. 先生はどんな人?

よくマスクを
しています
。韓国や農協が
好き
。家族思いの
パパです。
。協同組合法が
専門分野の教授

< 2015 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)	
4	読書・ディスカッション 新歓	
5	↓	
6		
7		
8		納涼会
9		
10	読書・ディスカッション	
11	↓	
12		忘年会
1		
2		
3		

<ゼミの日常>

基本的には2週間1サイクルで
本を読む週 とディスカッションを招
週に分かちで行います。

<卒業生の進路>

公務員が多め
もちろん民間もいます!

<自由記入欄>

- 。このゼミは3年生,4年生の合同ゼミです。
- 。物語,エッセイ,新書など幅広い分野の本を読みます。
- 。企業法学課中心ですが,他学課の人でも幅広く募集しています!
- 。このままだと来年女性が1人になってしまうので 男性はもちろん女性の方を特に募集しています
- 。オープンゼミも行うので お気軽に来てくださーい。

教員名 坂東 雄介

1. 研究主題

このゼミでは、憲法・行政法に関わる判決・論文の精読、報告、討論を通じて、公法学(憲法・行政法)に関する理解を深化すること、法的思考能力の獲得を目的とします。

2. 指導要領

(1)3年生

【前期・後期の前半】判例研究を行います。報告者(1-2名)が、判決を一つ取り上げ、関連する判例及び学説を調べた上でレジュメを作成し、それを元に参加者全員で討論を行います。報告者以外は毎回簡単なペーパーを作成・提出してもらい、提出されたペーパーを参照しながら討論を行います。また、報告者以外にも、関連文献の予習などが求められます。

報告するテーマについては、大枠において教員からある程度の提案を行いますが、最終的には自らの興味関心に従って決定して構いません。私の研究対象は、外国人の法的地位・国籍に関する法理論ですが、ゼミで扱うテーマはこれに拘束される必要はありません。

【後期の後半】テキストを輪読します。扱うテキストは受講生と相談しながら決定したいと思います。テキストの内容は、憲法・行政法のほか、比較法(特に外国憲法)、法思想史(特に憲法学に関する古典文献)、国際人権法などを予定しています。2016年度に扱う予定の文献は未定です。参考までに2014年度のゼミでは、George Williams, A Charter of Rights for Australia(UNSW Press, 2007)を輪読しました。2015年度のゼミで扱う予定の文献は未定ですが、いくつか挙がっている候補として、ジョン・トービー/藤川隆男(訳)『パスポートの発明』(法政大学出版局・2008年)、ウィル・キムリッカ/岡崎ほか(訳)『土着語の政治』(法政大学出版局・2012年)、Kim Rubenstein(ed), Individual Community Nation(Australian Scholarly Publishing Pty Ltd)、キース・フォークス/中川雄一郎(訳)『シチズンシップ』(日本経済評論社・2011年)があります。2015年度は、この中から一つを選んで輪読する予定です。

また、3年終了時には、卒業論文の予行として、卒論のベースとなるようなレポートを作成します。

(2)4年生

【前期】3年生の発表に協力しつつ、卒業論文の準備

【後期】卒業論文の作成(中間発表含む)

3. 指導テキスト及び参考書

六法、憲法基礎Ⅰ・Ⅱ、憲法Ⅱにおいて使用した判例集・教科書。それ以外は教員から適宜指示する。

4. 選考の方法(面接・テスト等)

受け入れの可否については、志望理由書、学習意欲、全体の成績評定(GPA)などによって判断します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

以下の手順によって行います。

1.申込期間中にアンケートフォームに登録して下さい。

2.11月2日(月)17:00までに志望理由書を作成し、研究室(1号館322)まで持って来てください。不在の時には研究室前に設置してある提出用の箱に投函して下さい。志望理由書には、氏名、学生番号、自己紹介(所属している部活、趣味、出身高校など)、連絡が取れるメールアドレス、志望理由、憲法学に対して自身が抱いているイメージ、取り組みたいテーマ(漠然としたものでよい)などを記入して下さい。

3.11月9日(月)14:30から行うゼミ面接に参加して下さい。集合場所はゼミ室(309)です。授業などにより日程が合わない場合は個別に面接を行いますので、その旨の連絡をして下さい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

・受け入れ人数は7人前後。所属学科は問いません。

・特段の事情がない限り、憲法基礎Ⅰ・Ⅱ、憲法Ⅱを履修した、あるいは履修する予定であること、さらに、行政法Ⅰ・Ⅱを履修する予定であること。この科目を履修できない場合は、自主的に教科書などを読んで知識を補って下さい。行政法はこの募集要項を読んでいる2年生には馴染みがない科目だと思いますが、憲法と行政法は車の両輪のように非常に関連性が高い科目です。このゼミでは、憲法的視点だけではなく、行政法的視点からも検討を行います。

・無断遅刻、無断欠席、部活・アルバイトによる遅刻・早退・欠席は厳禁です。

・ゼミの準備等はかなりハードかもしれませんが、その分だけ能力が身につくことは保証します。《大学で学問すること》に対して熱心な学生の参加を待っています。

・質問などがあれば、ybando@res.otaru-uc.ac.jpまで。

ゼミ紹介白書

< 坂東雄介ゼミ >

開講日時	木曜日 4,5 講
在籍人数(3年生)	5 人
男女比(3年生)	4 : 1
ゼミ室	309 (3号館3階)
ガチ度	★★★★☆

Q. 先生はどんな人?

面倒見がよい
牛乳が好物
読書家
自転車乗り



< 2015 年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	判例の評釈・検討
5	
6	坂会館
7	花火
8	夏休み
9	
10	本の輪読(予定)
11	
12	冬休み
1	
2	卒論テーマ決定(休)
3	春休み

<ゼミの日常>

前期 → 判例の評釈・検討

後期 → 本の輪読

(本はみんなで読めます)

ゼミの合間(4講と5講の合間)には休憩と称しておかしの食べながら雑談しています。

<卒業生の進路>

ゼミ生の志望進路は
公務員・民間です。

<自由記入欄>

坂東ゼミでは憲法だけでなく行政法も取り扱います。憲法と行政法は「憲法がわかると行政法がわかる、行政法がわかると憲法がわかる」という関係にあるので、「一粒で二度おいしい」のみならず、両方の理解が進めば三度も四度もおいしいです。文章の読み書きが苦手だと大変に感じることもあるかもしれませんが法的思考力がつくことは確約できます。本気で法律を学びたい方におすすりめです。

1. 研究主題

ビジネス法務の基礎。このゼミでは企業経営にとって必要不可欠な法律について、判例や個別テーマ（平成26年改正会社法や社外取締役制度等）の検討を行い、ビジネスにおける法的諸問題について基礎的な知識を得ることが第一の目的です。また、これらの法的諸問題の検討を通じて、法的な思考や法学における討論の能力を身に着けることも目的です。

2. 指導要領

このゼミでは、大きく分けて、①ビジネス法務に関する判例の検討（主として、商法・会社法の判例）、②個別テーマ研究、③合同ゼミや法律討論会への参加が主たる内容です。平成27年度では、横浜国立大学、琉球大学、旭川大学・北星学園大学・北海学園大学・札幌学院大学との合同ゼミや法律討論会を行っています（平成27年8月現在予定）。

これらのゼミ活動においては、積極的に過去の判例を検討したり、ビジネス法務関連の問題についてグループ研究を行ったり、加えて、他大学との法律討論を通じて、法的な思考力を涵養することが目標となります。したがって、積極的なゼミ参加が期待されます。

4年生は卒業論文の執筆のための研究を行います。

3. 指導テキスト及び参考書

商法Ⅰ～Ⅲで指定されている教科書

4. 選考の方法（面接・テスト等）

11月2日（月）までに、508研究室のドアにあるボックスにゼミの志望理由書（A4版2枚以上、自己紹介・本ゼミを志望した理由・卒業後の希望進路等、連絡可能なメールアドレス（PCからのメールを受け取ることが可能なアドレス限定）を必ず記載）を提出し、その後、個別に面接を行います。なお、場合によっては、希望者の成績も確認させていただく場合があります（なお、その場合であっても、成績の良し悪しだけで選抜を行いませんので、ご安心ください）。

5. 面接・テスト等の日時・場所

現在のところ、11月12日（木）午後2時30分からを予定しています（変更の場合は別途掲示）。

なお、個別の面接時間は、個別にメールにて通知しますので、4. に記載したようにメールアドレスを必ず、志望理由書に記載してください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミは午後6時前後まで行う予定ですので、ゼミがある日等に部活・サークルやアルバイト等がある場合には必ずゼミを優先するようにしてください。合同ゼミの開催に当たり、一定の旅費が発生する場合がありますので、予めご承知おきください。

開講日時	木曜 4・5講
在籍人数(3年生)	12人
男女比(3年生)	1 : 1
ゼミ室	3号館4階416号室
ガチ度	★★★★☆

Q. 先生はどんな人?



< 2015年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

お花見会

ゼミ

横浜市立合同ゼミ

琉球大合同ゼミ

<ゼミの日常>

企業経営に関する法的諸問題について
判例事例などを使って研究!!
難しいことも前先生が教えてくれます!!
ちょっとした雑談などもあり毎回明るく、
楽しく行っています!!

<卒業生の進路>

札幌市役所 旭川市役所 北海道庁
東京海上日動 大和ハウス 日本生命
オノキ裡山 三井住友銀行 ... etc.

<自由記入欄>

今年は、琉球大との合同ゼミで、みんなで沖縄に行く予定です!!
この他にも、みんなの都合があれば、天元島のゼミ合宿なども考えています。
さらに、江頭ゼミと協力して、NPO法人設立の際の定款の作成も手伝っています。
普段は、楽しくゼミをやっていますが、やるときは真剣に取り組んでいます!!
やりがいと楽しさも欲しい欲張りなあなたもぜひゼミへ!!

